



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その107 追悼：楨文彦1928-2024 95歳永眠
大分県にある、楨文彦設計「風の丘斎場」で、1997年に完成しました。八角形や三角形などの幾何学的形態が、南側の楕円形の広場を抱え込むように、半ば埋もれて建っています。内部はトップライトやハイサイドライト、地窓、中庭など、様々に入り込む光によって装飾され、荘厳でありつつ、やさしい空気が満ちています。建築空間を活かすのは光です。

CURRENTLY WORKS



アケボノが「日本建築学会教育賞（教育貢献）」を受賞しました！
弊社の岡島と太田は、20年程前から、愛知淑徳大学の名物授業となった「デザイン・ワークショップ」に、講師として関わって来ました。毎年大学で開催される建築展を、学生たちが設計し、学生たちが会場を作り上げるという授業です。今年その実践教育に対し「日本建築学会教育賞（教育貢献）」を受賞し、弊社の代表として岡島が授賞式に出席しました。

PRIVATE TOPICS



岡本の日々雑感・・・ミュージカルやバレエ組曲
「サウンド・オブ・ミュージック」を初めて見ました。曲は知っていても物語は知らず、馴染みの曲を物語の中で聴く新鮮さ！「ドレミの歌」さえこんなにいい歌だったのか！と…ミュージカルと同じく『バレエ組曲』は曲は聞いたことがあっても物語は知られていない気がします。けどなぜか「ロミオとジュリエット」は、物語が有名で、曲は知られていないような…。

EDITORIAL NOTE

6月ですが「五月雨」の話です。これは旧暦5月の雨ですから、新暦では6月、梅雨そのものです。五月雨…「さみだれ」の「さ」は旧暦5月「皐月」の「皐」であり、「みだれ」は「水垂れ」です。この美しい日本語は、ビジネス上でも「五月雨式」という言葉で残っています。違和感もありますが…

編集担当：太田・藤原、監修：岡島